

第39回日本高齢者大会 in おおさか

大会成功のための推進ニュース

現地実行委員会事務局

事務局長 小寺重光

第4号

2026. 6. 12

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪高齢期運動連絡会（日本年金者組合大阪府本部内）

日本高齢者大会現地実行委員会 TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746

メールアドレス：daikouren@cc.wakwak.com

憲法改悪を許さず、平和、くらし、人権を守りぬく共同を広げよう

11・10 大阪国際会議場で会いましょう

今回の「推進ニュース」では、高齢者大会ならではの魅力満載の分科会・学習講座の現地企画を、現地実行委員の林洋司さんにその一部を紹介していただきます。

①大阪城の謎 豊臣時代とは何だったのか



NHKで放送中の大河ドラマ「豊臣兄弟」。天下統一に成功した秀吉が、武士を中心とした新しい社会体制をつくるために打ち出した政策とは……。アジア侵略の先駆者として持ち上げられた秀吉……。地中に埋められた大阪城のなぞ……。大阪城

天守閣の元渡辺館長と現跡部館長が縦横に語ります。

②戦争する国づくりを地域から止めよう ー自治体が協力しなければ戦争する国づくりは進まないー



2023年12月、防衛省は沖縄県うるま市に自衛隊訓練場整備計画を発表 周辺自治体、地方議員、住民が反対運動を展開し、うるま市議会も全会一致で計画の白紙撤回を求める意見書を可決し、2

024年4月防衛省は計画の断念を表明。

大軍拡や改憲が進む今こそ、自治体は地域の平和を守る立場を明確にすることが重要と「住民参加が自治を変

える」と地方自治に詳しい中山奈良女子大名誉教授が解き明かします。

③公共交通 誰もが移動しやすい社会を



各地路線バスの減便・撤退が相次いでおり、日本の公共政策の枠組みの限界が浮き彫りになっています。そこで、移動を守るための全国各地の先進事例(困難事例も含め)を交流しあい、各地の運動の発展につなげます。助言者は立命館大学の

近藤教授。現地レポート4本。路線バスを誰もが乗りやすくを実践している京都府京丹後市、オンデマンド交通の事例を三重県玉城町などなど……。地域公共交通の崩壊を防ぎ、移動の足を確保するためには、国・自治体の公的支援の抜本的拡充や持続可能な地域交通計画の策定など財源問題もレポート報告します。

全体会オープニングの内容が決まりました。

①詩吟 「憲法9条戦争放棄」

②短歌 「徴兵はばむべし」

③井上ひさし「憲法前文」

うたごえ 合唱3曲 会場と合唱2曲 計5曲

曲名 ①憲法9条五月晴れ(演歌) ②ひと

として(橋下維新市政思想調査反対運動支援歌) ③青春時代

④手のひらを太陽に ⑤青い空は

現地実行委員会 進捗

大会までのスケジュール

6月 大会リーフレット発行、参加募集

7月 「参加のしおり」編集方針・原稿収集、

8月 基調報告作成

9月 「参加のしおり」発行、当日印刷物の確定、全体シナリオの確定 登壇者の確定、来賓あいさつ大会メッセージの要請

10月 会場確認、全体会シナリオの確定 登壇者の確定

11月 事前準備



アメリカのイラン攻撃にペンライトで抗議 (5/29 梅田)

第39 回日本高齢者大会 in おおさか・参加の呼びかけ すべての都道府県・すべての団体から大阪へ

— 平和・くらし・人権を守る共同を広げ、いま、確かな一歩を —

全国の高齢期運動に携わる 仲間の皆さん。

2026 年11 月10 日から11 日までの2 日間、大阪国際会議場を主会場として「第39 回日本高齢者大会 in おおさか」を開催します。

国際紛争が暗い影を落とすなか、国内では憲法9 条をめぐる改憲の動きが強まり、大軍拡が推し進められています。医療や介護の負担増、物価高に届かない年金の実質減額など、高齢者の暮らしを支える社会保障の足元は揺らぎ、福島原発事故から15 年を迎えた今年、教訓を省みない原発回帰の政策が強行されています。いま、私たちが直面している現実はやさしいものではありません。

これに対して、全国各地の草の根からは「暮らしに安心を」「平和な社会を」という切実な声が上がリ、「憲法守れ戦争許すな」の行動は全国に広がるうねりとなっています。国連では高齢者の人権を守る条約作りの一歩が踏み出されつつあります。

日本高齢者大会は、時々の情勢を見据え、高齢期の尊厳と未来をひらく場として歩みを重ねてきました。

今年は、大会スローガン「まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう」サブスローガン「憲法改悪を許さず、平和・くらし・人権を守りぬく共同を広げよう」を掲げ、大阪の現地実行委員会の仲間が全力

を挙げて準備を進めています。今年の大阪大会を成功させ、平和・くらし・人権を守り抜く共同の輪を、力強く全国へ広げていきましょう。

全国の仲間の皆さんに呼びかけます。

一、すべての団体、すべての都道府県から、現地大阪へ集まろう

今大会の現地参加目標は、2 日間延べ3,000 人です。すべての都道府県連絡会、そして各中央団体から、一人でも多くの仲間を大阪の会場へ送り出しましょう。参加者派遣の具体的な話し合いと声がけを、ぜひ今から始めてください。
二、豊かな運動と知恵を「分科会」に持ち寄り、前進の力にしよう

大会には、人権宣言を日々の暮らしに活かす要求運動をはじめ、医療・介護、年金、公共交通、自治の課題など多面的な学習と議論の場を準備します。

日頃から地域で実践している、居場所づくりや相談活動、自治体要求運動、憲法を守り平和と人権を守る行動などの経験と教訓を、ぜひ分科会へ持ち寄ってください。全国の仲間と交流し、議論を重ね、これからの運動を前進させる確かな知恵を持ち帰りましょう。

憲法改悪を許さず、平和・くらし・人権を守りぬく共同を広げよう

2026年
第39回

日本高齢者大会

11月10日(火)・11日(水) in おおさか

大阪府立国際会議場

2026年11月10日(火)
13時00分(予定)～ 学際講座・分科会
大阪府立国際会議場 10階、8階、7階会議室

2026年11月11日(水)
10時30分(予定)～ 全体会(12時30分終了予定)
大阪府立国際会議場 5階メインホール

- オープニング
- 詩吟「憲法9条・平和への願い」
- 「300人の大合唱」
- 基調報告 記念講演

記念講演(対話形式)
ジャーナリスト・パルメンテーター
青木 理氏
「平和と人権を語る」(仮題)

【プロフィール】
■ あおきさとし
記者、元ソウル特派員、1966年生まれ。長野県小諸市出身。慶応義塾大学卒。朗読/ナレーション/他。近著「百年の挽歌 原爆、戦争、美しい村」

大阪府立国際会議場
1918年大阪市が私財を投じて建てられた、ネオバロック建築の歴史的建築物。現在も市民の集会所として利用されています。

移動分科会3でも開催します。

参加費
1日 25000円 2日 50000円
オンライン参加費
1日 10000円 2日 20000円

まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう

第39回日本高齢者大会 in おおさか 中央実行委員会
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5
ジャンポール中野504
TEL Fax 03-3384-6354 E-mail nihonkosen@nifty.com

第39回日本高齢者大会 in おおさか 現地実行委員会
〒530-0041 大阪府北区天神橋1-13-15
大阪府総務部連絡協議会(全日本年金者組合大阪府本部内)
TEL Fax 06-6334-7237 Fax 06-6334-7746 E-mail diskouren@cc.westnet.ne.jp

三、Web 参加を大いに広げ、各地に「衛星会場」を作り出そう

全体会のオンライン配信も行います。(講座・分科会についても検討中)地域の事務所や公民館などに独自の「Web 衛星会場」を積極的に作り、小集会として運営し、参加をおおいに広げてください。

紅葉の大阪で、そして全国のWeb 会場で、皆さんと確かな決意を交わし合えることを楽しみにしています。困難な条件も乗り越えて、すべての都道府県から、日本高齢者大会参加の取り組みを開始されることを心より呼びかけます。

2026 年6 月

第39 回日本高齢者大会

中央実行委員会